

彙報

真宗学会

◇新入生オリエンテーション開催

四月十二日(木) 於 二一〇番教室

寺川俊昭学会長、幡谷明教授、本多弘之助教授、小野蓮明専任講師から、それぞれ新入生に対し、「真宗学とは何か」「真宗学の学び方」「真宗学の開講科目」について、懇切な助言を受けた。その後、研究室から研究室利用等の説明があった。

参加学生 二百余名。

◇四月十七日(火) 本学名誉教授、故曾我量深師の令息、曾我信雄氏より、研究室に『大正大藏經』全巻、および、真宗学関係図書の寄贈を受けた。研究室では、貴重な図書を十二分に活用させていきたいと願っている。

仏教学会

◇昭和五十三年度

卒業・修士論文梗概発表会

一月十八日(木) 午後三時より

於 三〇一番教室

出席 会長佐々木(教)教授、鍵主・桜部・佐々木(現)・坂東各教授、長崎・三桐・福島各助教授、舟橋専任講師、木村・吉元各助手、稲垣特研員、他院生学生五十余名。

引き続き、学内食堂において卒業・修士送別懇談会を催した。

◇講演会

三月六日(火) 午後一時〜三時

於 京大会館一〇一号室

講題 Theories of Darśana-mārga in the Yogācārahūmi and Some other Text
講師 ハンブルク大学教授
Lambert Schmithausen 博士

共催 京都インド学仏教学会・龍谷大学
仏教学研究室・大谷大学仏教学会

◇座談会—ハンブルク大学教授シュミット
ハウゼン博士を囲んで—

三月七日(水) 午後二時〜四時

於 図書館会議室

教授を囲んで、唯識仏教学研究についての活発な質疑応答が行なわれた。

出席 会長佐々木(教)教授、雲井・佐々木

(現)・坂東・安井各教授、長崎・三桐各助教授、舟橋専任講師、田端講師、片野・木村・吉元各助手、稲垣特研員ほか学生・院生十五名。

宗教学会

◇宗教学特別公開講演会

一月十三日(土) 午後一時より

於 図書館会議室

講題 「自己と無について」

講師 パーゼル大学教授F・ブワリー氏

出席者 坂本教授、大屋教授、武田助教授、堀尾専任講師、築山助手ほか専攻学生多数が聴講した。

講演の内容は仏教思想にも関連したものであり、とりわけ「無」ということをブワリー教授がどのように考えておられるかに聴講者一同は深い関心をもった。

哲学研究室

◇坂本弘教授停年退職記念講義

一月十八日(木) 午後四時より

於 二〇六番教室

講題 「鈴木大拙先生の宗教観の焦点」

出席者 金松教授、大屋教授、訓覇教授、

武田助教授、箕浦助教授、鈴木助教授、

堀尾専任講師、池上専任講師、築山助手

ほか本学教職員、宗教学専攻の卒業生及

び在学生多数。

今度の坂本弘教授の停年退職記念講義に

は本学の教職員及び宗教学専攻の卒業生が

多数来聴され、学生時代を回想しつつ、鈴

木大拙先生の宗教観の根本的立場を坂本教

授から拝聴する機会を得て、深い感銘を受

日本仏教史学会

◇送別懇親会

一月一七日(水)午後六時

於 聖護院河道屋

参加 北西教授、名畑助教授、大桑専任講

師、佐々木(令)助手、上場特研員、院生

・学生四十名。

◇三回生懇談会

二月八日(木)午後四時半

於 アイ

参加 北西教授、名畑助教授、佐々木(令)

助手、学生十五名。

◇四回生懇談会

二月八日(木)午後七時

於 南大門

参加 北西教授、名畑助教授、大桑専任講

師、佐々木(令)助手、学生八名。

◇卒業生謝恩会

三月二十三日(金)午後二時

於 京都下鴨プリンスホテル

参加 北西教授、名畑助教授、大桑専任講

師、佐々木(令)助手、院生・学生一二名。

東洋史学会

◇本年度より、大学院仏教文化及び東洋

史学科担当特任教授として、京都大学名

誉教授、佐伯富先生が着任された。我々

に対する御指導御鞭撻が期待される。

国文学会

◇『文芸論叢』第十二号発刊

目次

宇治拾遺物語小攷 山本 唯一

一易の占して金取り出す事

成意往生説話について 石橋 義秀

『盛衰記』鬮籠尼説話考 渡辺 貞磨

一語りの場ということについて

『徒然草』の無常観私見 鷺山 樹心

古浄瑠璃『源海上人』の背景 沙加戸 弘

詩僧清江について 河内 昭円

呉研人の『九命奇冤』について

—その構成についての一試論—

資料紹介 中島 利郎

雨森芳洲と大典禅師 水田 紀久

(A5判七八頁・定価七〇〇円)